

## 声 明

2023年1月6日

一般社団法人 日本看護系学会協議会は、日本学術会議による声明「内閣府「日本学術会議の在り方についての方針」（令和4年12月6日）について再考を求めます」を支持する。

既に日本学術会議は、「日本学術会議のより良い役割発揮に向けて」（令和3年（4月22日））を発出し、科学的助言機能の強化、会員選考プロセスの透明性の向上など、一連の改革を着実に推進している。そのような中、内閣府が示した「方針」は、日本学術会議法に謳われている独立性を揺るがすものと受け止められる。ナショナル・アカデミーとして、人々の精神を豊かにし社会の進歩を実現する学術の振興に寄与するために、日本学術会議による自律的な改革が進むことを切に願う。

一般社団法人 日本看護系学会協議会

会長 萱間 真美

副会長 上別府 圭子

理事 浅野 みどり

理事 荒木田 美香子

理事 池松 裕子

理事 鎌倉 やよい

理事 酒井 郁子

理事 眞嶋 朋子

理事 吉田 俊子

理事 佐々木 吉子

理事 西村 ユミ

理事 山川 みやえ

監事 小松 浩子

監事 村嶋 幸代